

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- 約10年前から県、圏域で協議の場を設置しており、特に圏域においては保健所が中心となり、地域の特性に応じた取組が展開できる体制にある。
- 近年、早期に退院ができる取組が定着している

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
多様な精神疾患に対応した医療アクセスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ クロザピン治療の支援ができるよう事業化に向けて検討 ■ 病院の好事例取組を実現可能な形で横展開する仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「クロザピン治療支援事業」 R2年度～ 治療導入3医療機関の協力のもと、他医療機関の治療を支援する事業を開始予定 ■ 「精神科医療連携促進事業」R2年度～ 医療精神科医療機関の多職種で、希望する県内病院に出向いて実地研修を受けられる体制を整備
地域移行の強化による長期入院患者の減少	<ul style="list-style-type: none"> ■ ピアサポーター活用方法の見直し □ クロザピン治療の医療提供体制整備(再掲) □ 病院の好事例取組を実現可能な形で横展開する仕組み作り(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 要綱改正 R2年度～ 社会制度の変化を勘案し、関係機関からの聞き取り調査や検討会を開催し、ピアサポーターに求められる役割や活動のあり方を見直した
地域定着にむけた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市町村の協議の場の設置と、協議の場の醸成 ■ パイロット的に1市をバックアップし、好事例として横展開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各圏域で市町村担当職員と「市町村における協議のあり方」を検討する場を設けた ■ 地域・まちづくりまで発展できる好事例を横展開できるように広く発信した

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (年度当初)	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
① 長期入院患者数	1,144人	1,130人	医療アクセスの強化、地域移行の強化
② 市町村の協議の場の設置数	4市町村	9市町村	地域基盤の充実
③ 再入院率(退院後12ヵ月時点)	32.9%	維持	医療アクセスの強化、地域基盤の充実